

○中間テストの取り組み

【質問教室】

テスト1週間前から部活動が停止になり、7校時を設定して質問教室を行いました。今年から今までのやり方を変更し、曜日によって教科を決め、質問のある生徒が担当教科の先生のところへ自分から出向いていく形式にしたところ、多くの生徒がこの機会を利用していました。少しでも苦手を克服したり得手を伸ばしたりすることができたのではないのでしょうか。また、質問に出向かない生徒はしっかりと自分の課題に向き合い、自習ができていました。「学習への心構え」がほとんどの生徒に見られ、全校を上げて中間テストに向けて頑張りました。

【中間テストを振り返って：先生方より】

- 1年・多くの生徒が家庭学習を毎日1～2時間程度できていた。・質問教室にたくさんの生徒がきていた。・テストは皆落ち着いた態度、姿勢できちんと受けられていた。見直しもよくできていた。・解答用紙に空欄が目立った。範囲が決まっているのだからまんべんなく復習をしておいて欲しい。・提出物は早めに済ませ、テスト直前は見直しに時間をかけて欲しい。・テスト返却後はしっかりと解き直しをして、分からないところを放っておかないようにしましょう。
- 2年・質問教室をよく利用していた。また、自習のテスト勉強も静かに集中してできており、勉強しようという構えがしっかりしてきた。・自主学習ノートを普段のより多く取り組んだ生徒も多数いた。家庭学習を頑張っていることがうかがえた。(3時間以上の人や5時間以上の人もいた。)・課題の提出もまずまずできている。・取り組み方に個人差があるようだ。また個々の中でもムラがあり、そこを克服して欲しい。・頑張ったことが結果(テストの点数)につながっている人も多い。
- 3年・授業にとっても集中して取り組んでいる。・授業の始まりの時間を意識して守れるようになった。意識の向上が見られた。・質問教室も多数の生徒が利用した。分からないところをそのままにせず、「分からない」と言えるようになった。・テストに向けて計画表を作り、計画通りに勉強した生徒が多かった。・テスト勉強をしたことが結果(正解)につながっている生徒も多い。・高校入試を意識した言動が見られだした。前向きな気持ちを感じられる。

○コロナに負けない

非常事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いており予断を許さない状況です。多くの施設や商店も営業を再開しつつありますが、気の緩みや第2波、第3波の到来も心配されています。そんな中で3年生の多くの生徒が目標にしてきた美作総体や県総体の中止が発表されました。とても残念に思います。3年間頑張って続けたことの集大成としての大会であり中学校生活の中で大切な行事です。高校生のインターハイや甲子園なども中止になり、本当に大変な夏になってしまいました。しかし、参加する生徒や役員、関係者の命や安全を第一に考えての決断であり仕方ないことでもあります。大会はなくなりましたが、3年生が今まで頑張ってきたことは間違いありません。大会はなくなりましたが、3年生が今まで頑張ってきたことは間違いありません。部活動自体はまだ続いていきます。この経験もいつか人生の糧になるはずです。落胆もあると思いますが、気持ちを切り替えて頑張りたいと思います。そして、最後までやり遂げて引退の日を迎えてください。

◆お知らせ◆

5月30日(土)より休日(土日祝日)の部活動を再開します。コロナ対策もしっかりと取り組み、安全に十分配慮しながら行っていきますので御理解と御協力をよろしくお願い致します。